

1 書写教育研究主題

**活動を通して基礎・基本を習得し、
文字を正しく書こうとする子どもをめざして**

2 主題設定の理由

(1) 本校の教育目標から

本校は学校教育目標を「たくましい体と豊かな心を持ち 自ら学ぶ子どもを育成する」と設定し、「元気な子 仲のよい子 考える子」の育成をめざしている。また、重点目標として「友達・先生・地域の人などとの様々なかかわりを通して、人間関係力を高めていく子どもの育成」をかかげている。この目標を達成するために、自分の考えや思いが十分に発揮できる授業をつくり、自分の伸びと友達の良さを感じ取れるようにさせたいと考えている。また、一人一人が生かされ、「自分が大好き」「友達が大好き」になるような学級づくりをしていくことが大切だと思われる。

(2) 本校の研究主題から

これまでの本校の研究で基本的な問題解決型の授業スタイルは明らかになった。それは、児童の思考に寄り添った「考えをもつ」「考えを交流する」「考えを深める」という学習の流れである。この児童の思考を大切にした授業を繰り返すことで思考力がつく。さらにこの学習のスタイルを大切にしながら「考えをもつ」段階で教科の本質に繋がるような活動を入れることで考えをもちやすくなることも明らかになった。

そこで、本年度も「考えをもつ」段階で、児童が取り組む活動を更に充実させることを目指し、研究主題を「活動主体の授業で思考力を伸ばす」とした。

書写の学習では、「どのように書けばいいのか」「どういうつくりになっているのか」などを活動を通して考えさせていくことで、文字を正しく書くことを意識できることを重視したい。そのうえで目的意識をもった練習活動につないでいき、書写力の基礎を養いたいと考えている。

(3) 書写の指導内容から

書写指導は「文字の指導」であり、基礎的・基本的な内容を的確に身に付けさせることを重視している。したがって、書写の内容は、「言語事項」の(2)に位置付け、ここに示されている。言い換えると、書写の学習は、文字を正しく書くことができることを目指しているということをしっかり見据えて、指導にあたる必要がある。

書写指導にあたっては、基礎的な指導内容と基本的な指導内容があると言われている。基礎的な指導内容とは、「正しい姿勢」「正しい執筆」「用具の正しい使い方」などで書く文字には直接関係しないが、その基底部分として書写力を共通に支持し、向上させる役目をなすものである。一般的には、入門期、低学年の時に繰り返し指導すべきことのように思われがちだが、学年が大きくなっても繰り返し指導し、定着を図っていくべき指導内容といえる。

基本的な指導内容とは、「基本となる点画」「筆順」「字形」「その他（点画の長短・接し方・交わり方・点画の方向ほか）」などで、書写指導をする際の指導内容の拠り所として基準になる内容のことである。文字を正しく理解し表現するだけでなく、文字に対する関心を高めることや文字に対する感性を高めることも含んでいると考えたい。それぞれの授業が何を扱おうとしているのかを鮮明にし、意図を鮮明にした指導にしていくことが肝要である。

これまで、とすると書写の学習では、作品づくりが授業の中心に置かれ、結果としての全体的な作品の出来・不出来が評価の対象になりやすかったのではないだろうか。しかし、基礎的・基本的な内容を身に付けさせること＝（イコール）よい作品をつくることではない。その時間に学習することについて、どのようなことに気をつけ、どのように書けばいいかを意識させることが大切なのである。言い換えると、漫然とたくさん練習すればいいというのではなく、「こう書けばいいんだ」「このように書きたい」と意識しながら書くことができるようにすることが大切だと考えている。そうすることで、練習の活動に必然や目的意識が生まれる。やらされるだけの繰り返し練習だけでなく、自分なりの意識(考え)をもった活動を作り出すことができる。

(4) 児童の実態から

基礎的な指導内容にあたる、姿勢・鉛筆の持ち方などに問題のある子どもが増えてきている。良くない癖が付いていて、なかなか直そうとしない子どももいる。また、基本的な指導内容にあたる字形・筆順等の乱れも気にかかる。学習場面で、丸文字・まんが文字を使う子どももいて、文字に対する関心を高めていくことが急務だと思われる。

子どもが、正しく書くための基礎・基本を知り、どう書けば正しく書くことができそうかを自分で思考することが大切である。その上で、「こう書くべきなんだ」「このように書きたい」という思いをもって書くように指導し、書写力を身に付けさせたい。お手本をなぞるだけではなく、通常の生活の中で当たり前に使えてこそ、書写力と言えると考えからである。

※書写力……文字に対する認識を深め、文字感覚を豊かにし、文字を正しく整えて書く能力。培った力を日常生活の中で活用していこうとする態度を含む ととらえている。

以上のことから、研究主題を

**活動を通して基礎・基本を習得し、
文字を正しく書こうとする子どもをめざして**

と設定した。

3 めざす子ども像

- ・課題をもって、主体的に活動する中で、基礎・基本を学んでいく子ども
- ・学んだことを生かして、日常生活でも正しい字を書こうとする子ども

4 研究の視点

○研究主題のとらえ方

活動を通して基礎・基本を習得する とは、

文字を正しく書くためにはいくつかの基礎・基本がある。毛筆の筆使いなど教師から教えられることもあるが、児童が興味をもって課題に取り組み、活動する中で、基礎・基本について考え、自ら気付いていく姿を大切にしていきたい。

文字を正しく書こうとする とは、

課題について解決していく活動の中で学んだことを、日常で活用していこうとする態度であり、活用していく中で確かにし、定着させていくことととらえている。

これらのことから研究の視点を以下の点に絞って研究を進めていくことにした。

子どもが課題をもって楽しく取り組める活動の工夫

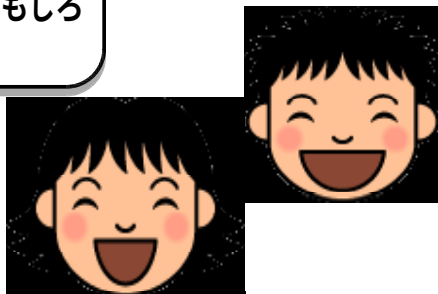
- ・子どもが興味・関心をもちやすい導入の工夫
- ・子どもがめあてを意識できる活動の工夫
- ・学んだことを生かせる活動の工夫

文字の形が分かってきたわ。

この練習はおもしろそうだわ。

この文字はどんな仕組みなのかな。

このことに気を付ければうまく書けそうだな。



書写教育研究全体計画

平成19年度

岡山市立高島小学校

岡山「人づくり」プラン

子どもたちが愛されていると実感できる
家庭・学校・地域社会を実現しよう

めざす子ども像 「自立」する子ども (豊かな人間性・自分を高める・共に生きる)
(学校教育目標)

たくましい体と豊かな心を持ち

自ら学ぶ子どもを育成する

元気な子

仲のよい子

考える子

(平成19年度重点目標)

友達・先生・地域の人などとの様々なかかわりを通して、人間関係力を高めていく子どもを育成する。

自分が大好き！みんなが大好き！高島っ子

重点目標の達成に向けて PLAN

本校研究主題

活動主体の授業で思考力を伸ばす

書写教育
研究テーマ

活動を通して基礎・基本を習得し、
文字を正しく書こうとする子どもをめざして

めざす子ども像①

- ・課題をもって、主体的に活動する中で、基礎・基本を学んでいく子ども



めざす子ども像②

- ・学んだことを生かして、日常生活でも正しい字を書こうとする子ども



具体的な取り組み DO

<研究の視点>

子どもが課題をもって楽しく取り組める活動の工夫

- ・子どもが興味関心をもちやすい導入の工夫
- ・子どもがめあてを意識できる活動の工夫
- ・学んだことを生かせる活動の工夫

- ・この文字はどんな仕組みなのかな。
- ・文字の形が分かったぞ。
- ・このことに気を付ければうまく書けそう。
- ・この練習はおもしろそうだな。など

評価 CHECK

ACTION

指導事項系統表

		1 年	2 年	3 年	
				毛筆	硬筆
姿勢・執筆		書く姿勢, 鉛筆の持ち方,	書く姿勢, 鉛筆の持ち方と姿勢,	書く姿勢, 筆で書いてみよう,	書く姿勢
用具・導入		手の置き方, いろいろな線, なまえ	鉛筆の持ち方と手の置き方, いろいろな文字	毛筆の用具とその使い方, いろいろな用具	鉛筆・フェルトペンの持ち方, いろいろな用具
文字の 書き方 (筆使い)	ひ ら が な	止め,払い, 曲がり,折り返し, むすび, 濁点・半濁点, 拗音・促音, 句読点・かぎ, ひらがなの表	句読点・かぎ(原稿用紙)	止め,払い, 曲がり, むすび,	曲がり
	か た か な	払い, 折れ, 曲がり, 半濁音・濁音, 拗音・長音, かたかなの表	止め,はね,払い, 折れ,曲がり, 接し方,交わり方 拗音 かたかなの表	止め,払い 折れ, 曲がり, 点	
	漢 字	止め, 払い,はね, 折れ,曲がり	折れ,止め, はね,払い, 曲がり,そり, 接し方,交わり方	始筆・送筆・終筆 (横画と縦画) 止め,払い,折れ,はね,点	折れ
筆 順		書き順(ひらがな) (漢字) 各教材	書き順(かたかな) (漢字) 各教材	筆順 各教材	筆順 各教材
字形の 整え方		外形(ひらがな) (漢字) 画の長さ 形の似ているところ	外形(かたかな) (漢字) 画の方向 点画の長さ・間隔 画の接し方・交わり方 文字の中心 似ているところのある漢字	点画の方向 点画の長さ 払いの方向	外形 組み立て方 文字の中心
字配り 配列					

		4 年		5 年		6 年	
		毛筆	硬筆	毛筆	硬筆	毛筆	硬筆
姿勢・執筆		書く姿勢	書く姿勢	書く姿勢	書く姿勢	書く姿勢	書く姿勢
用具・導入		毛筆の用具とその使い方 筆で書いてみよう		毛筆の用具とその使い方 学習の進め方	学習の進め方	毛筆の用具とその使い方 学習の進め方	学習の進め方
文字の 書き方 (筆使い)	ひ ら が な		画の交わり方 むすび	曲がり 折り返し むすび	曲がり 折り返し むすび	曲がり	
	か た か な	払い,折れ, 点画の方向 点画の長さ	点画の方向 点画の長さ	払い,折れ		払い,曲がり	
	漢 字	曲がり, 折れ, はね, 点	曲がり, 払いの方向, 点画の接し方, 点画の交わり方	そり, 形の変化	そり, 筆脈		
筆 順		筆順 各教材	筆順 各教材	筆順 各教材	筆順 各教材	筆順 各教材	筆順 各教材
字形の 整え方		外形, 点画の接し方, 点画の方向, 点画の間隔 組み立て方	外形, 点画の長短, 点画の接し方, 点画の交わり方, 点画の方向, 点画の間隔, 点画の方向, 点画の間隔, 文字の中心, 文字の大きさ	外形, 組み立て方, 文字の大きさ	外形, 画の長短, 画の接し方, 画の交わり方, 画の方向, 点画の間隔, 組み立て方, 文字の中心	外形, 組み立て方, 文字の中心	外形, 組み立て方
字配り 配 列			行の中心	字配り 行の中心	文字の大きさ 字配り (中心,字間,行間,余白) 行の中心	文字の大きさ, 字配り, 行の中心,	文字の大きさ, 字配り, 行の中心, 配列